

# 申上候

# 辰未商報

辰暑漸く薄らぎ朝夕心地良き秋涼の候となり糖界亦漸く開散の期に入らんとするに際し一服の興奮劑は精糖の上に投せられた即十八日に大日本明治臺灣の舊三精糖會社が聯合して二十二圓五十錢と言ふ協定値段を發表し同値買取を期して市場維持價格釣上の策謀に出でた、此目先の變つた一芝居に人氣は俄然沸騰して精糖九十月切二十二圓五十錢と比較的強硬なる相場を表し更に二十四日に至り協定値段買取を明言したる爲め愈々本腰となり一段の引締を見せ九十月切二十二圓五十五錢と出来たるも跡別段の進捗を見せず依然五十錢五十五錢處を行來し囁り着きの觀を呈して居る最近新設製糖會社の勃發ありて市場在荷の嵩むと共に新會社の競争的安賣ありて舊精糖會社は其經營上に一苦辛を加ねたる譯にて三社の協議せる所も亦無理ならぬ所で密に同情する次第なるも元來相場は大勢に據つて自然の成行に従はんとする傾向ある以上協定の術數亦絶対に當を得たりと斷言することも出來ない、大勢下らんとする相場も會社が買取を続ける以上辛じて發表の水準を保つに過ぎざる有様である左れば會社にして協定を休止することあらんか必ずや水の底に付い

て水平に復せんとする如く糖價亦大勢に從而進退す可く蓋し人文の發達は次第に自然を征服して進むと雖宇宙森羅萬象自然を放れて談するに由なく況や拘泥して自然に拮抗せんとするは到底企て及ばぬ事ではあるまいか、時に人爲の策謀の全く自然の成行を壓し去るの場合なきに非るも奮然として怒る自然の反發を忘れてはならない、商買に無屈は無用とは言へ時には高に登つて大勢の赴く處を注視するも亦強ち無意義のことでもなからうと信する、人々各々赴く處あり各自、信する所ありて進む以上今是非の判別を下して前途を卜なして進退するか硬軟果して何れが最後の勝利を贏ち得るか趣味の津々として盡さざる處は蓋し此邊にあるだらう

最近印度方面の好況は實に驚く可きものがある從來同地方は主として瓜哇糖の輸入多く粗糖白糖共に其供給を仰いだ蓋運賃安の關係と宗教上の偏見の爲めに多數は骨炭を通せる精糖を喜ばず盛に耕地白糖を使用したるものなるも時勢の進運は蒙昧なる迷信を許さず近來精糖熱を喚起して内地精糖買取を熱望し神戸舟乘拾貳圓五拾錢より拾參圓の買付を見るに至つた

## 海外雑報

の追加耕作あるべしと稱せらるゝ故之を加算して尙昨年度より一六五、二九五エーカーの減少である而して此一、四〇一、四八六エーカー三の内粗精會社に於て直接耕作せるもの

七三六、七九七エーカー六一般農家の耕作に係るもの

六六四、六八八エーカー七

然し此外、三〇六、三四七エーカー五

五一カ一七の減少を示して居る、然

も先年禁酒令發布せられたる以來砂糖の消費は莫大の増加をなし軍隊に於て

は又夥しき消費ありと言へば來期產糖中其の輸出は殆んど不可能なるべく國内供給量又寧ろ不足の状態たるべしと思はれて居る故に糖價の堅固は又無理ならぬ事と言はねばならぬ一九一四

◎露西亞に於ては食料品の問題は久し以前より論談せられ居る所で砂糖も

粗糖 一四一二、一七七ブード

精糖 一七九六、六八八ブード

一九一六年度輸出

粗糖 二四五、六〇二ブード

精糖 四五六、五八六ブード

即ち粗糖に於て一、〇四三四二五ブード

毎月三回七ノ日發行 定價壹枚貳錢郵稅壹錢  
廣告料壹行壹回貳拾錢  
發行兼 濱田 正夫  
大阪市南區安堂寺橋通一丁目一番地  
編輯印刷人 濱田 日報社

を示し二十一日の頃九十月切十八圓四十五錢と出來たれ共二十六日に至つて九十月切十八圓十五錢と落込んで若干手持筋の荒贋を挫き愈々頭重き觀を呈したれ共一道の光明は薄霧を透して十  
月の秋に在る如く聊か底氣味惡き商狀を呈して居る、需給の關係より見れば供給の不足は尙免れざる所なる可く十分露西亞に於ては食料品の問題は久し以前より論談せられ居る所で砂糖も

亦目下極めて趣味ある問題として注目せられて居る然し他食料品に比しては若干其の趣を異にし殆ど政府の支配權に於て生産に關與する有様なる故當業者は

先づ先づ政府の定めたる糖價を範圍として活動するに過ぎぬ状態である而して今日砂糖が奢侈品の域を脱して必需品となりたる以上消費者は高價なる砂糖をも買取りて其の需要に當てねばならぬ從て其の間、糖商は金融業者と共に有利なる立場に在り反對に消費者は頗る不利益なる位置にあると言はねばならぬ而して耕作者は產糖僅少なる可き豫想の明となりたる結果非常に立場を強化して居る最近確報に據れば甜菜植付面積は一、四〇一、四八六エーカーを潜めて何等持続することもないが秋の深くなるに従ひ追々此種の荷捌の旺盛を見る可きか

## 英國砂糖輸出輸入明細

		輸入		一單位 Ton			
		六月中	一月六月至六月ニヨリ				
瓜比玖蘭ハ墨秘ブモ英其	粗糖	哇賓瑪ナゴ古露ルス度印他合	1915 39 25,534 2,075 4,370 3,733 20,142 5,377	1916 1 10,557 87,270 475 646 3,740 20,495 944	1915 126,852 573 163,529 25,289 18,289 70,410 75,054 10,131	1916 10 30,635 393,082 21,959 1,690 72,167 43,538 2,712	
露獨和佛瓜亞亞モ其	精糖	亞逸蘭西哇國丁斯國	計物計	61,271 13,899 3 2,970 1,677 3,473 1 22,023 12,624 95,918	124,129 2,139 62,717 62,535 3,071 9,598 72,930 6,155 53,845 24,013 201,987	491,082 70 4,279 22 215,147 251 26,715 14,741 219,145 74,201 784,428	566,713
丁ネ葡加其	英國ノ精糖	抹ドアイ陀國	類糖物	1 1 1 392 333	1 1 8 2,421 150	1 14 3,519 3,521	
外國及殖民地ヨリノ分逆輸出	精粗糖	糖及ビ砂糖漬	英	27 75 8 503	107 482 16 755	277 808 613 4,199	637 543 557 5,258

一月ヨリ六月ニ至ル前半ケ年ノ消費高ヲ示セバ次ノ如シ

精英粗糖英合	國ノ製造ニ係ル精糖(保稅)	國製造ニ係ル糖物類(保稅)	英國精糖輸出差引
	1914 452,684 345,926 64,997 80,230 42,264 986,101	1915 249,036 420,956 166,386 77,072 33,481 946,931	1916 264,929 357,913 101,460 60,153 35,428 819,883
	10,493	2451	3,521
	975,608	944,430	816,362

ドの増加を示し精糖に於ては一、三〇一〇〇磅の大減少を示して居る  
(二磅は約三六磅)  
而して歐洲諸國の大部分は砂糖輸入國にして大量生産をなす獨逸奧太利は目

下交戦状態にある事迹此等諸國よりの輸入は絶対不可能である故に此際独逸奥太利等他の產糖地は露國賣込を熟望して止まざる有様である  
◎英國本年五月に於ける英國の輸入

は玖瑪の九七、八五四噸、モリシアスの一、〇四八噸、英領西印度七、八五噸、フィリッピン、三、八四七噸等を其主たるものとし其他精糖は合衆國より三六、五一五噸

モリシアスより四、二二一噸である尙一寸面白いのは五月中に獨乙より七十噸の輸入ありたることで如何にして其輸入を見たかは専明ではないが兎に角入荷したのは間違ない處である



# 辰相糖黑店木鈴場

◎御發電は凡て(オサカス、キ)宛にて着電致し候別に町名不記共宜敷御座候

## 黒糖及白下地

(但し歩合口錢として五歩半掛り可申受候)

全琉	琉全	全宮	全永	全喜	全笠	全全	名全	全全	德全	東全	全全	琉球
球	琉良	古部	利界	瀨宇	檢貳	壹步	壹步半	壹步半	壹步半	壹步半	壹步半	球
壹步半	白下	別撰品	壹步	貳步	壹步	壹步半	貳步半	壹步半	貳步半	壹步半	貳步半	貳步
(白下糖ハ步口錢ナシ)	琉全	拾九	拾九	拾九	拾九	拾九	拾九	拾九	拾九	拾九	拾九	拾九
品	貳貳貳圓	圓七	圓八	拾八	拾錢	錢圓	錢圓	錢圓	錢圓	錢圓	錢圓	錢圓
品	圓八	拾七	拾八	拾錢	錢圓	圓六	圓六	圓六	圓六	圓六	圓六	圓六
切	全	大	島	別	撰	辰	全	一	ツ	撰	新辰	全
切	琉	白	下	別	撰品	辰	辰	辰	一	ツ	東西別撰	辰
地	琉	白	下	別	撰品	辰	辰	辰	一	ツ	新辰	辰
地	琉	白	下	別	撰品	辰	辰	辰	一	ツ	新辰	辰

## 北陸奥羽北海道向

二百目斤建本造直段(風袋三貫八)

新辰琉球別撰 拾四圓四拾錢

新辰全一ツ撰 拾參圓六拾錢

新辰東西別撰 拾四圓四拾錢

新辰全一ツ撰 拾參圓九拾錢

(大數プラン印)

赤友白髮 四圓六拾錢

赤友白髮 四圓五拾錢

(小數ショート印)

赤友白髮 四圓四拾錢

綠友白髮

類

綠友白髮

類

赤友白髮

類

赤友白髮

類

赤友白髮

類

赤友白髮

類

右之外規定の通荷造貨申受候

大阪市南區末吉橋通二丁目

鈴木商店黒糖部

全琉  
球  
壹步半  
古糖格安品

白下糖ハ步口錢ナシ

鈴木商店麥粉部